

平成26年（ネ）第126号

大飯原発3, 4号機運転差止請求控訴事件

一審原告 松田正 外187名

一審被告 関西電力株式会社

## 証拠説明書

平成27年9月9日

名古屋高等裁判所金沢支部 御中

一審原告ら代理人弁護士 佐藤辰弥

同上 笠原一浩

ほか

### 記

号証	標目 (原本・写しの別)	作成 年月日	作成者	立証趣旨
甲190	新聞記事 写し	H27.5.7	毎日新聞	①新規制基準策定において、基準地震動の具体的な算出ルールは時間切れで作れず、どこまで厳しく規制するかは裁量次第になったこと ②今の基準地震動の値は一般に、平均的な値の1.6倍程度であり、実際の揺れの8~9割はそれ以下で収まるが、残りの1~2割は超えると考えられていること ③実際の地震では(計算による)平均値の2倍以上強い揺れが全体の7%程度あり、3倍、4倍の揺れさえも観測されていること ④したがって、平均から離れた強い揺れも考慮すべきであること

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨	
甲191	発電用軽水型 原子炉の新安全 基準に関する検 討チーム 第13回会合 議事録	写 し	H25. 1. 31	原子力規 制委員会	原子力規制委員会の委員であり、かつ、 新安全基準検討チームの座長である更 田委員が「最初から全部それを揃えたい んじゃないかという議論は当然ある と思います。(中略)要求するもの全て が揃うようにやると、どのくらいなんだ ろうと、ちょっとわからないけど、3年 とか4年とかという時間がかかるんだ と思っています。」等と述べ(56頁)、 新規制基準が検討不足の不完全なも のであることを認めたと、再稼働運転あ りきで新規制基準を検討していたこと も自認していること
甲192	発電用軽水型 原子炉の新規 制基準に関する 検討チーム 第20回会合 議事録	写 し	H25. 3. 28	同上	地震・津波基準の骨子案の中で「残余の リスク」を実行可能な限り小さくする という努力義務の規定が書かれていた ことに関し、努力義務ではなく、規制基 準とすべきであり、また実行可能な限り という緩い条件を付すべきではないと 言う意見が提出されたところ、この内容 は参考であるので、誤解が無いようにす ると言って「参考」としてしまい、議論 を深めることや、再検討をすることはし なかったこと(34頁)
甲193	論文「活断層の 長さから推定 する地震モー メント」	写 し	27. 5. 28	島崎邦彦	原子力規制委員会の元委員である島崎 邦彦氏が、入倉孝次郎氏による入倉レシ ピでは、地震動が著しい過小評価(他の モデルの4分の1程度)となることを指 摘していること
甲194	「2 断層の モデル化」と題 する文書	写 し	18. 12. 7	中央防災 会議	平成18年時点で既に、入倉レシピでは地 震動が著しい過小評価(他のモデルの4 分の1程度)となることが認識されてい たこと(8枚目。2-6)
甲195	発電用軽水 型原子炉施 設の地震・津 波に関わる 新規制基準 に関する検	写 し	25. 6. 6	原子力規 制委員会	3. 1 1を踏まえて、地震・津波に関 する不確実さの扱い等について、まだ 十分にきちんと決着する時間がない 中で、新しい基準が策定され、審査が 行われてしまっていること

号 証	標 目 (原本・写しの別)		作 成 年月日	作成者	立 証 趣 旨
	討チーム 第13回会 合 議事録				
甲196	「発電用軽 水型原子炉 施設に関す る安全設計 審査指針及 び関連の指 針類に反映 させるべき 事項の検討 について」	写 し	24.3.14	原子力安 全基準・ 指針専門 部会等	左記機関においても「東北地方太平洋 沖地震では、原子力発電所内の外部電 源系の構成要素である遮断器 や地下 ケーブルの損傷が生じ、外部電源喪失 の原因の一部となった。外部電源系 は、現行の重要度分類指針において は、異常発生防止系のクラス3(PS-3) に分類され、一般産業施設と同等以上 の信頼性を確保し、かつ、維持するこ とのみが求められており、今般の事 故を踏まえれば、高い水準の信頼性の 維持、向上に取り組むことが望まれ る。」と認識されていたこと(11頁)
甲197	「東京電力 福島第一原 子力発電所 事故の技術 的知見につ いて(中間と りまとめ)」	写 し	H24.2	原子力安 全・保安 院(当時)	左記機関においても「東北地方太平洋 沖地震に際し、交流電源確保の成否が 原子力発電所の安全確保の結果に大 きな差異を生じたことを踏まえ、原子 力発電所に直接繋がる変電所までを 規 制上の視野に入れた外部電源の信 頼性向上が必要。」「原子力発電所内 開閉所の多重化されていない電気設 備の損傷により外部電源が喪 失した ことを踏まえ、開閉所の設備の耐震性 を向上させることが必要。」と認識さ れていたこと

以 上